

漫 眞の酒呑みとは
わかり切つた事二三
入山 エ ス 生
若山牧水先生の歌に
白玉の露にしみとほる
秋の夜の酒はしづかに
のむべかりける

静寂
東京市 前野孤秋
音の絶へた冬の夜よけ
お屋敷の八畳の間に
花瓶に生けてある梅の葉
一葉カサリツツと
音をたてて散つた

別離
八木 民
春！ くしきも春は悲し
けれ
かくも痛しき思ひをば
別ちて乙女は去り行か
ん
又會ふ日を契りつゝ
果敢なき契りを待ちわび

高橋是清
(7) 松浦泉三郎作
(佐々木今朝吉)
生別離(二)
おはらはおきんの父親三
治郎の妹、つまり、おきん
の叔母に當つてゐた。三治
郎がおきんの實母と故有つ
て別れ、母親の生家である
多摩川在丸子の料理茶店玉
屋の娘を女房として迎へ入
れて以來、おきんは、川村
家へ三男要之助の侍女とし
て住み込みで仕事してゐた
母の家に養はれてゐた
男まさりのおきんは、廣
瀬屋の店を女手一ツで切り
盛りし、同業仲間の交際な
ども、女下すから等の理由
で、おきんは殆んどなつか
つた

歌壇時評
岡 松雄
嘗て何かの紙上に、文壇
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて

雑詠
初夏やなべて白きよる心
力揃見せつ、肌の汗拭けり
暈暈や木陰のベンチ慕ひよる
刈草をばしてゆくや早雲
炎天や七瀬鳥のよくれかる
那遣へば暑帯たき裸かな
夕陽やまだ鳴いてゐる閑古鳥
梅雨空になりきつてゐる雨また
倉谷 雷子

小説
高橋是清
(7) 松浦泉三郎作
(佐々木今朝吉)
生別離(二)
おはらはおきんの父親三
治郎の妹、つまり、おきん
の叔母に當つてゐた。三治
郎がおきんの實母と故有つ
て別れ、母親の生家である
多摩川在丸子の料理茶店玉
屋の娘を女房として迎へ入
れて以來、おきんは、川村
家へ三男要之助の侍女とし
て住み込みで仕事してゐた
母の家に養はれてゐた
男まさりのおきんは、廣
瀬屋の店を女手一ツで切り
盛りし、同業仲間の交際な
ども、女下すから等の理由
で、おきんは殆んどなつか
つた

歌壇時評
岡 松雄
嘗て何かの紙上に、文壇
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて

歌壇時評
岡 松雄
嘗て何かの紙上に、文壇
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて

歌壇時評
岡 松雄
嘗て何かの紙上に、文壇
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて

歌壇時評
岡 松雄
嘗て何かの紙上に、文壇
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて
と云ふところは、流れて

友都林式
平町三丁目
電話一七七番
奴が、どんでもねわお世
にならやして、このお世
中を毎日々々、空へへ
お禮の申上げやうもねえ始
末で、
それへお礼を言つて、
へ、おはらはおきんの父親三
治郎の妹、つまり、おきん
の叔母に當つてゐた。三治
郎がおきんの實母と故有つ
て別れ、母親の生家である
多摩川在丸子の料理茶店玉
屋の娘を女房として迎へ入
れて以來、おきんは、川村
家へ三男要之助の侍女とし
て住み込みで仕事してゐた
母の家に養はれてゐた
男まさりのおきんは、廣
瀬屋の店を女手一ツで切り
盛りし、同業仲間の交際な
ども、女下すから等の理由
で、おきんは殆んどなつか
つた



入院隨應(自炊の便あり)
外科 線門
病室完備
上田醫院
(電話二一九)

コンパル
電話六六六
毎度有難うございます
素人料理
おでん 榮ちやん
酒にやき鳥
冷ビールにサイダー
平町新町三三番
前田醫院
院長 前田清美
院址 平町電話二二四

洋食 喫茶
宴會
郡山脳病院
電話九二五番
院長 金森 五郎

胃腸性病科
皮膚科
性病科
皮膚科
院醫科性病腸胃
(番七〇一電町南町平)

北川外科
平町新川町(橋本醫院)
醫學博士 北川芳夫
醫學士 奥 義引
イッテモ入院できず、電話四六四番

郡山脳病院
電話九二五番
院長 金森 五郎

木村病院
平町新川町十九番地
電話一六四番

急告
豆タク！
豆タク！
豆タク！
現出

卸小賣 大角園
平町橋本小路

自轉車・リヤカー
品質本位と正直な値段
フタバ商會
平・新川町郵便局前
谷屋呉服店ナリ

中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野 憲次
醫學士 西川 誠
平町電話(松月堂前)電話五〇九番

急告
豆タク！
豆タク！
豆タク！
現出

卸小賣 大角園
平町橋本小路

自轉車・リヤカー
品質本位と正直な値段
フタバ商會
平・新川町郵便局前
谷屋呉服店ナリ

中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野 憲次
醫學士 西川 誠
平町電話(松月堂前)電話五〇九番

流線型愈よテヴェー

常磐線急行を牽引

今、明日の性能試験により

流線型の花嫁として常磐線に配給された流線型機車は四日(水戸)五日(水戸)六日(上野)七日(上野)の四日連続走行が行われ、懸念されたホムへの接納もなく萬事OKなで愈々七、八兩日(二〇)一、二の両急行を牽引性能試験を行ふ事になった、この結果がよければ引續き同急行専門に運用される。

性能試験第一の今日は午前七時三十分五分水戸発、同十時三十分上野着、更に同午後七時上野發下り、同十時三十分水戸着、明日は午前八時三十分水戸發、午後八時三十分水戸着。

在天の雄魂に

金鷄勳章傳達さる

故大平伍長の餘榮

帝國生命線の保護に任じ昨十時から町會議事堂に開き年二月十五日安東省安東縣總會の日取等に關し協議す大荒瀾附近の戦場で戦死した大平伍長(大平伍長)の遺族に對しては當時村長の禮を以てその雄魂を祀つたが、勳八等白色桐葉章に功七級金鷄勳章を御下賜の沙汰があり、此種勳章を賜は、縣下各支部に交付されて來たので近き遺族に傳達さるる筈である。

東日の

グライダ

小名濱に著陸

東日飛行機株式會社が、創立六十周年記念グラダグライダを、小名濱に著陸した。この機は、大平伍長の遺族に對しては、當時村長の禮を以てその雄魂を祀つたが、勳八等白色桐葉章に功七級金鷄勳章を御下賜の沙汰があり、此種勳章を賜は、縣下各支部に交付されて來たので近き遺族に傳達さるる筈である。

入山炭礦の健康保持者

来る十日表形式

入山炭礦健康保持組合が、協賛會は、今日(七日)午前十時から第一校下新の二荒瀾徳伯を講師として、十二日三荒瀾水産試験場(入山炭礦)に於て、健康保持講習會を開催する。講師は、二荒瀾徳伯(二荒瀾徳伯)である。

小學並青年校長協議

けふ第一校で開催

郡下小學校並に青年學校校長青年會總會は、来る七日(今日)午前十時から第一校下新の二荒瀾徳伯を講師として、十二日三荒瀾水産試験場(入山炭礦)に於て、健康保持講習會を開催する。講師は、二荒瀾徳伯(二荒瀾徳伯)である。

大麥は大作か

近來の不成績に鑑み

農試分場で對策に腐心

神谷農試分場に於ける昨六日(今日)午前九時、日立夏當日調査の大麥作況調査會が、農試分場に於て開催された。調査會は、農試分場に於て開催された。調査會は、農試分場に於て開催された。調査會は、農試分場に於て開催された。

幾多の功績を残して

榮轉の中山水試場長

各方面から惜しむ

今回熊本水産試験場長に榮轉した九年二月再び本縣轉じた中山水試場長(中山水試場長)は、各方面から惜しむ。中山水試場長は、各方面から惜しむ。中山水試場長は、各方面から惜しむ。

少年スリの背後に

共犯二名現はる

昨報、肉親の父の感し文句の上受取り、みんな内郷に恐れ遂に悪に染つた少年の共犯二名が、今日(七日)午前九時、日立夏當日調査の大麥作況調査會が、農試分場に於て開催された。調査會は、農試分場に於て開催された。調査會は、農試分場に於て開催された。

前借を踏んだ酌婦

下田港で涼しい顔

逃走二ヶ月餘で捕はる

千葉縣安房郡山北町六木盛産所でもこれらの活間町生れ渡り(三三)は去動に少く威嚇してゐる。逃走二ヶ月餘で捕はる。逃走二ヶ月餘で捕はる。

入山の行

入山の行

入山炭礦に於ける今月中の行

入山炭礦に於ける今月中の行。入山炭礦に於ける今月中の行。入山炭礦に於ける今月中の行。

親も呆れた盗癖少年

上野署を飛び出す

赤井村神下二二農員(赤井村神下二二農員)は、親も呆れた盗癖少年。上野署を飛び出す。上野署を飛び出す。

安食ひの銅線泥

餘罪續々判明

昨日(七日)午後二時、赤井村神下二二農員(赤井村神下二二農員)は、親も呆れた盗癖少年。上野署を飛び出す。上野署を飛び出す。

日用品物價

日用品物價

赤井村神下二二農員(赤井村神下二二農員)は、親も呆れた盗癖少年。上野署を飛び出す。上野署を飛び出す。

入場者月一萬七千

平町が縣下一

入場者月一萬七千。平町が縣下一。入場者月一萬七千。平町が縣下一。

婦産科専門

根本醫院

平町南町五二

電話 三四番

通學服

新學期

ふかや洋服店

大和田醫院

耳鼻科専門

平町南町一六番地

電話 二七〇番

時代要求皆様の足!!

尼子自動車商會

豆タクが入りました。

日本石油株式會社特約店

關影商店平支店

本店 水戸線下館前

關影商店平支店

本店 水戸線下館前

電話 六一番

關影商店平支店

本店 水戸線下館前

電話 六一番

關影商店平支店

本店 水戸線下館前

電話 六一番

關影商店平支店

本店 水戸線下館前

電話 六一番